

令和7年度

12月 幼稚園だより

墨田区立緑幼稚園



子供たちの成長を感じた「みどりフェスティバル」

園長 河原 宏子

朝夕は一段と寒くなり、街路樹の落ち葉に冬の訪れを感じる今日この頃です。

先日の「みどりフェスティバル」には、多くの保護者の皆様にご来園いただき、ありがとうございました。童心に返ったかのように、素敵な笑顔を輝かせながら各お店をまわり、心から楽しんでいた保護者の皆様の姿が大変印象的でした。

さて、今年も残すところあと1か月となり、今年度も4か月で終わりにになります。4月に入園したゆり組の子供たちとすみれ組に進級した子供たちですが、「みどりフェスティバル」では大きな成長を感じることができました。4月当初には身の回りのことで精一杯だったゆり組の子供たちでしたが、友達と協力しながらお店を準備していきました。生き生きとした表情でケーキやお寿司、うどんを作っている姿に、思わず足が止まってしまいました。また、すみれ組の子供たちは、さすがという言葉がぴったりなくらい自分の仕事を立派にやり遂げ、余裕と自信が感じられました。

就園までは、小さな世界で生活していた多くの子供たちが、幼稚園という集団の中で生活することの意義と大切さを改めて実感しました。さらに、忘れてはならないのは、就園までの3年間で、各家庭で保護者の皆様の温かいたっぷりの愛情を全身に受けて育ったことが土台にあるということです。いろいろなところで言われていますが、親と過ごす貴重な3年間で、脳の発達と共に子供たちの将来にとって大切な感情や心の基礎が育ちます。「三つ子の魂百までも」と言われるゆえんです。それがあってこそ、幼稚園での教育が成り立つものと思います。

これから年の瀬を迎えますが、子供たちが良い形で本年を締めくくり、そして、希望に満ちた新年を迎えることを心より願っております。この1年間、保護者の皆様には、緑幼稚園教育に深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。来年も宜しく申し上げます。良い年をお迎えください。



今月のねらい

<年少ゆり組>

- ・遊びや生活の中で、自分の思いやイメージを出しながら、友達とのかかわりをじっくりと楽しむ。
- ・友達の言動に興味をもったり、刺激を受けたりしながら、学級の人々と一緒にする活動を楽しむ。

<年長すみれ組>

- ・友達と考えを出し合ったり、受け入れ合ったりしながら共通の目的を意識し、つながりを深めて遊ぶことを楽しむ。
- ・冬の自然や行事に興味・関心をもって楽しみ、季節の移り変わりに気付いたり、年の暮れの様子を感じたりする。

園だよりや幼稚園での最近の様子をホームページにて配信しています。ご覧ください。



緑幼稚園 HP
QRコード